

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
日本史B	3	4	高校日本史 改訂版（山川出版）	4 ステージ演習ノート（数研出版）
到達目標 我が国の歴史の編成について、地理的条件や世界の歴史をはじめ政治・経済・文化・外交などと関連づけて考え、我が国の伝統と文化の特色を理解するとともに、歴史的思考力・判断力を身につける。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	・日本の歴史に対して深い関心をもち、積極的に学習している。
b 思考・判断・表現	・日本の歴史と地理的条件や世界の歴史を関連づけて考察している。 ・歴史の変遷を時代背景（政治、経済、文化、対外関係など）から判断することができる。 ・学習した内容を、論理的に文章化、説明するなど自らまとめることができる。
c 資料活用の技能	・歴史資料や地図をもとに、その時代の様子などの歴史的情報を読み取ることができる。
d 知識・理解	・日本史に関する基礎的知識（用語・人名）を身につけている。 ・我が国の歴史や文化の特色や形成の過程を理解している。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価とする。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	1	ガイダンス					10	30	第5編 近代2				
	14	第1編 原始・古代							日本と二つの世界大戦	○	○	○	
		旧石器時代から摂関政治期	○		○				日中戦争・太平洋戦争	○	○	○	
5	30	第2編 中世					11						
		平安初期から室町末期		○		○							
6							12	20	第6編 現代				
									戦後日本のあゆみと経済成長		○	○	
7	20	第3編 近世					1						
		室町時代後半から江戸幕府滅亡		○	○								
8							2						
9	25	第4編 近代1					3						
		明治維新から日清・日露戦争	○			○							
							計 140						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 ・日本史Aの学習内容を前提に授業を進めます。復習をしておいてください。 ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・プリント・ファイル（A4 2穴）・筆記用具・ワークを準備し、直ぐに授業が始められるようにしてください。 ・忘れ物は、1校時開始前までに申し出てください。 ・遅刻や欠席に関して、学校の基準以内であれば直接の減点はしません。 ・プリント提出・課題提出は期限を厳守してください。減点対象とします。 ・クラスメイトの学ぶ権利を奪う行為や向上心のない言動は慎んでください。 ・分からないことは、そのままにせず直ぐに確認をしてください。
--